

## 平成26年度第2回子ども・子育て会議での主な意見

## 1 教育・保育施設提供体制等検討部会及び地域子ども・子育て支援事業提供体制等検討部会における審議結果の報告について

項目	委員	意見
教育・保育の量の見込みと確保方策について	伊藤委員	隣接する中学校区で不足分を吸収できる区域が他にもないか、保育園協会で調査中であり、もしあれば反映してもらいたい。
地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について	伊藤委員	オープンスペースは身近な場所にあってほしい。社会福祉協議会や民生委員が運営するところへの支援をもう少し充実できると良いのではないか。
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の骨子案について	伊藤委員	国の基準よりも高い基準で運営し、他の市に誇れるような制度にしてもらいたい。

## 2 広島市子ども施策総合計画の推進状況(平成25年度)について

委員	意見
宮崎委員	市営住宅の入居抽選時に、ひとり親家庭の当選確率が一般家庭の2倍となる優遇措置があるが、何度応募しても落選するという落胆の声をよく聞く。母子家庭の収入は一般家庭の4割程度のため、住まいは市営住宅を希望している。もう少し当選の確率を上げてほしい。